

## 長野県長野西高等学校ユネスコスクール委員会への感想

〔生徒の皆様へ〕

- バレンタインデーのフェアトレードチョコを配布する活動など、特別な日に即した活動を思いつき、実践された様子はさすが高校生だなと感じました。フリーマーケット活動も実践されており、SDGsの目標を幅広い手段・方法で達成されていてすごいなと思いました。
- SDGsから、手段を考えるというアイデアはとても良いと思いました。フリーマーケットや服の回収など、地域ぐるみで活動していることも良いと思います。また、これらの活動を通して、生徒に幅広くSDGsのことを知ってもらったということも大きな成果だと思います。
- 自分は去年まで長野西高校に在籍していたのですが、大学に来て西高はSDGsに大きく力を入れている唯一無二の高校であると感じました。フェアトレードチョコレートの企画はフェアトレードのことについて知るともいい企画であったと感じています。また、長野駅前などで募金活動を行い、西高のユネスコスクール委員会はSDGsにとっても貢献していると思います。今年度の文化祭でも竹でできた紙袋を売ってまわっていて素晴らしいと感じました。ほかにも服の回収などの活動は大きな成果であると思います。これからもSDGsに力を入れて地域に貢献できるように頑張ってください。
- 面白い所に目をつけたと思いました。長野県ならではの着眼点だと思います。今現在の若い人たちは自然というのに対し特別なものであると考える人が多いです。こういった活動を率先して行ってくれることをうれしく思います。
- 行事を利用することでSDGsの活動を広めていくということは、学校内の生徒にとって身近に感じやすく企画としてとても良いアイデアであると感じました。放置竹林問題はノート紙・袋として活用し、実際に学校内でも販売を行ったとのことでした。身近な問題から、ユネスコスクール委員会の皆さんから、学校に発信する姿勢が見えたと感じています。世界的な問題を考えるにあたり、一人一人が自分事化できるような取り組みが大切だと私は考えています。それを実際に実行され、課題解決の取り組みをされた皆さんのアプローチは素晴らしかったです。
- SDGsに関する活動を考えるだけでなく、商品を販売するなど実際に行動に移している点がすごいなと思いました。そして、学校の生徒間だけではなく、地域住民の方々や企業とのつながりを得ながら活動を行うことにより、SDGsの輪を広げることができ、多くの人の意識を変えることにもつながったのではないかと思います。
- 発表ありがとうございました。高校生となると、学内だけでなく学外に活動を広げ、企業や地域を巻き込んだ活動は大学生にとってもとても感心するものばかりでした。最近では、フェアトレードという言葉は浸透してきていると思います。しかし、現状がどのような改善が行われ、どのような課題が残っているのかが気になります。社会問題の一步先にあるもう少し深い部分にも踏み込んだ活動をしてみると、さらに学習が深まると思いました。引き続き、活動頑張ってください。
- フェアトレードの視点を取り入れ、服の回収と貧困の国への支援は非常に素晴らしいアプローチです。これにより、社会的な責任を果たすと同時に、SDGsに向けた意識も高まっていることが分かります。循環型経済の促進や地球環境への配慮も考慮されている点が良いですね。持続可能な未来に寄

与していくことを期待しています。

- 高校生の視点らしい実践だったと思います。SDGsの取り組みを、全校生徒を巻き込んで行うのはとても意味があると思います。SDGsの達成は少人数だけの取り組みではなりたないと思います。多くの人を巻き込むことでSDGsが認知され達成に近づくのだと思います。
- フェアトレード商品の販売や竹製品の制作、服のチカラプロジェクト等、身近な所からSDGsについて広げられたという成果が得られた点が素晴らしいと感じました。今後のより幅広い周知ができるよう課題点を明確にしていたため、これからの活躍も期待しております。
- 「フェアトレード」という単語自体は聞いたことがあっても、どのような行動を取れば良いのか分からず行動に移せない、という方はたくさんいると思います。そんな中、バレンタインデーや文化祭などを活用して、「販売」という具体的な活動をしていて、素晴らしいと思いました。フリーマーケットなども行っているようですが、さらに活動が広がってほしいと思いました。
- SDGsを「高校生の視点から」という皆さんの考え方が、さまざまな問題を他人事ではなく自分のこととして捉えようとしている感じがしていいなと思いました。多岐にわたる活動を通して、SDGsに対してたくさん人の入口を作り、より多くの人に興味を持つきっかけづくりができたという成果はとても大きいと思います。私も「こんな取り組みができるんだ、あるんだ！」ととても勉強になりました。
- フェアトレードチョコレートの活動は、私たちにとても身近で参加しやすく、素晴らしい取り組みだと感じました。また、ビニール袋をなくすために竹製品を使ってみたり、フリーマーケットを実施したり、「自分たちにできること」が最大限にできていると思います。皆さんの柔軟な頭を使ってぜひこれからも続けてほしいです。また、この素晴らしい活動は多くの人々の心を動かすことができるはずです。ぜひもっといろいろな人知ってもらえるように工夫してみてくださいと感じます。
- SDGsについて真剣に向き合い、自分たちにできることはなにかを考えて発表をしているのが印象に残った。まずは、問題を知ってもらうことが大事であり、活動を通してその一部を担っているの有用性のある探究であると感じた。

〔教職員の皆様へ〕

- まず、高校にユネスコスクール委員会が設置され、生徒主導でSDGsの達成につなげられるよう活動されていることに衝撃を受けました。企業と協働しての商品開発やフェアトレードチョコレートの販売など、高校生のうちから社会全体に目を向け、ただ学ぶだけでなく実際行動に移して地域の方にも活動を広げていくことはなかなか容易なことではないと思います。しかし長野西高校の皆さんは確固とした信念のもと様々な活動に意欲的に取り組まれており、その姿が全校や地域の方にも伝わっているのだらうと感じました。正直に言えば、高校生の段階でこんなにレベルの高い取り組みをされているのかと驚き、自分の意識の低さを痛感したほどでした。発表では高校生の皆さんが非常に意欲的に、様々試行錯誤しながら活動に取り組まれている様子が伝わってきましたが、先生方がどの程度入られているのかお伺いしてみたいとも思いました。機会があればぜひ、このような生徒の主体性が尊重された活動に取り組まれている高校における先生方の生徒会へのかかわりについて学ばせてい

ただきたいとも思いました。ありがとうございました。